

高島屋は「環境」「人権」「労働」を大切にする企業であることを宣言しています！

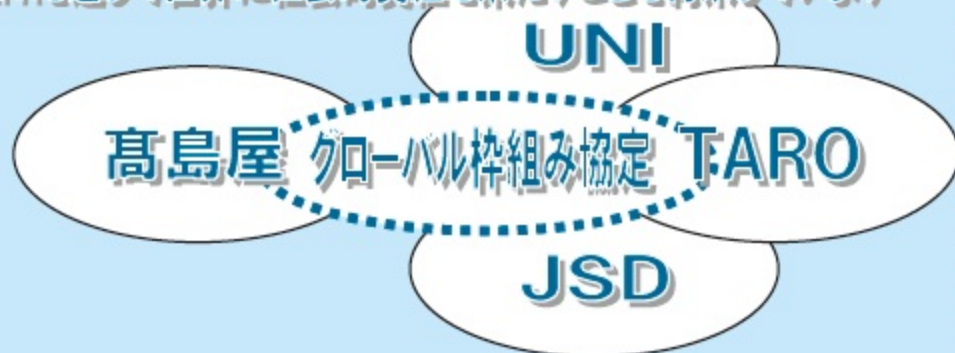
11月11日はグローバル枠組み協定を締結した記念日です。

グローバル枠組み協定(GFA)ってなんだろう？

私たち一人ひとりの行動は、常に社会から注目されています



GFAを通じて世界に社会的責任を果たすことを約束しています



グローバル枠組み協定とは…

- Global Framework Agreement 略して「GFA」
- グローバル企業と国際産業別労働組合との間で締結する協定です。当社の「GFA」は、「環境」「人権」「労働」という3つの領域について、左記の4者間で協定を締結しています。
- 労使でこの協定を締結し、責任を果たすことを、社会に対して宣言しています。毎年、取り組み状況を労使で検証し、できなかったことを確認して、次年度の取り組みに反映しています。
- 当社以外に、H&M、カルフルー、ZARA、ファーストリテイラー、ダイソー等、皆さんもよくご存知のグローバル企業が締結しています。

JSD(日本サービス・流通労働組合連合)とは…

- 高島屋労働組合が全高島屋労働組合連合会(高島屋グループ企業の労組の集まり)を通じて、加盟しているサービスや流通関連の労組の集まり

UNI(ユニオン・ネットワーク・インターナショナル)とは…

- 世界150カ国、900の加盟組織、2000万人の組合員が集まる、国際産業別組合
- 商業、金融、印刷、メディア、郵便・物流、テレコムといった産業の働く仲間の集まり

協定項目① 環境

持続可能な社会の実現に向け、企業だけではなく、社会人として私たち一人ひとりが環境に対する取り組みを行っていくことが求められています。



- 人類の生存に関わる問題として、世界が立ち向かっている地球温暖化に対し、当社は、いち早くISO14001の取得に取り組み、労働組合も環境政策を作るなど労使ともに環境への取り組みを進めています。
- こまめな電気の消灯やゴミの分別などに取り組んでいますか？



協定項目② 人権

百貨店には、様々な雇用形態、ローズスタッフの方々をはじめ立場の違うメンバーが働いています。働く仲間を互いに尊重しあう風土作りが重要です。

- 様々な雇用形態、ローズスタッフの方々を含めた全員が仕事をする上での大切なパートナーであることを、当社社員が理解し、率先垂範できていますか？
- ハラスメントがコンプライアンスに反する行為であることを理解していますか？

ハラスメント相談窓口

- 社内窓口(各店総務・各TARO事務所)
- 社外窓口(ハラスメントホットライン)
TEL: 0120-76-0606
※携帯電話・PHSからは 03-3234-2712(通話料は相談者負担)
受付(平日)9:00~21:00(土曜)10:00~18:00

協定項目③ 労働

百貨店は、海外からの調達を含め、様々な商品を取り扱っています。児童労働や強制労働による商品の根絶を目指します。

- 私たちが販売している商品が児童労働や強制労働で作られているものだとしたら、お客様はどう感じると思いますか？
- 仕入に携わっているMD本部のバイヤーやシニアマネジャーだけではなく、販売する一人ひとりが、フェアトレードや児童労働に関心を持つことが大切です。

高島屋は社会的責任を果たすことを社会に宣言しています

企業が社会に存続していくためには、社会的責任（SR）をしっかりと果たし、お客様や社会から信頼される企業をつくっていくことが重要です。高島屋がコンプライアンスの徹底やハラスメントの撲滅に取り組んでいるのは、そうした企業づくりを目指しているからです。

そして最も重要なことは、ローズスタッフの皆さんを含めた高島屋に働く全員が、常に社会に照らして、職場でやっていることや自らの行動を点検していくことです。

高島屋労使が締結している「グローバル枠組み協定（GFA）」は、まさに社会的責任に対し、一人ひとりが責任を持って取り組んでいくことを、社会に宣言・公約したもので、全員が常に意識することが大切です。

～社会から信頼される企業を目指して～

《コンプライアンス》

お客様の個人情報紛失を根絶しましょう！

- 依然としてお客様からお預かりしている大切な個人情報を紛失する事故が絶えません。
- 大切な個人情報を紛失する企業は、お客様はもちろん社会からも信頼を得ることができません。
- 現在、名簿電子化をはじめ、紛失リスクの最小化に取り組んでいますが、まずは、決められたことを確実に実施していきましょう。
- その上で、もっとこうすれば管理が強化できる、こう変えれば管理が省力化できるなど、ローズスタッフの皆さんを含めた全員の力で、個人情報の管理を徹底していきましょう。

《組織風土》

私たちの職場からハラスメントをなくしましょう！

- ローズスタッフの方々を含む当社で働く全員が大切なパートナーであることを、当社職員をはじめ、全員が理解しなくてはなりません。
- 11月はハラスメント防止強化月間です。自分や周囲の言動に問題がないか、一人ひとりが振り返って見ましょう。気になることがあれば、売場の仲間に相談しましょう。

みんなの活発なコミュニケーションで

活力ある企業風土をつくりましょう！

- 過日の高島屋グループフォーラムでは、各店・事業部、グループ会社のメンバーが、200年企業に向けて、20年後の高島屋について活発に議論しました。
- 今後、軋轢や誤解を恐れずに、自ら考え、積極的にコミュニケーション・行動をする活力ある企業づくりにつなげていきます。

こうした日々の取り組みは、社会との約束であるGFAの実践につながっています。

TOPICS 震災直後の私たちの行動において社会との共生を大切にする企業姿勢を全員で再確認しました。

高島屋の伝統や歴史、そして「いつも、人から。」という経営理念に基づいて、全員の力を合わせて、社会的行動を起こしました。こうした行動もGFAの理念に通じています。

東日本大震災では、高島屋の関東各店も被害を受けるとともに、その後の交通機関の混乱から都心を中心に多数の帰宅困難者が発生しました。そうした中、その晩から翌日にかけて、帰宅困難な方々に対し、店舗を開放するという社会のインフラや地域の一員としての企業行動がなされました。

その後の、原発問題による電力供給不足への対応についても、お客様や地域のニーズにお応えする商品・サービスを安定的に供給する中で、全社をあげて夏場最大電力 20%削減に向けて積極的に取り組んできました。